

萩大島船団丸から学ぶ

チームビルディング

〜どうしてファーストペンギンになれたのか〜



〈講演内容〉

山口県萩市大島は漁船が船団を組み漁を行う、まき網漁が主幹産業。しかし、燃料の高騰や漁獲量の減少、取引値の低迷のため、衰退の一途をたどっていました。

そんな現状に風穴を開けたのが、坪内知佳氏です。坪内氏はそれまで全く知見のなかった漁業の世界へ飛び込み、漁業者の自家出荷を実現し、水産の6次産業化による地方創生に取り組んでいます。

1次産業者・衰退する地方での経営改革に必要なヒントを見つけていただくべく、メディアでは放送されない10年間の船団丸の歩みを皆様にお聴きいただきます。

豆知識

ペンギンは元来、臆病な動物。そのため多くの敵が潜む海に、なかなか飛び込むことができない。しかし、勇気ある一羽が飛び込むと、仲間たちも次々と荒海へ！その「勇気ある一羽目」のことを「ファーストペンギン」と呼びます。



報告者

株式会社GHIBLI 代表取締役
坪内 知佳 氏

日本テレビ系ドラマ
『ファーストペンギン!』
実話モデル

こちらのQRコードで
ホームページから
参加登録可能です！



講師プロフィール

1986年福井県生まれ。
大学を中退後、萩市へ移住。萩市内で翻訳とコンサルティング業務を行う事務所を設立する。
2010年12月に漁師たちとの出会いから、知見のなかった漁業の世界に飛び込み、2011年3月に約60人の漁業者をまとめ、船団丸ブランド第一号となる「萩大島船団丸」を設立し代表に就任。農林水産省に6次産業化の認定を申請し、同年7月に自家出荷を開始。
アレルギーや化学物質過敏症、癌を患った経験から、食への関心が非常に高く、1次産業者から安心・安全な食材の供給に従事したいと考えるようになる。「漁村の豊かな生活と美しい刺盛り文化を守る」「青い海を未来へ繋ぐ」ため、持続可能な漁業を目指し、一匹のお魚の対価を高めるための6次産業化に取り組む。「船団丸」ブランドはメディア等でも取り上げられ、全国から漁業者が集い、県境を越えて海洋環境保全にも取り組んでいる。
2014年4月に株式会社GHIBLIとして法人化。漁協との調整や出荷ルートの確保、販路開拓までを手がけ2015年春より福島の漁港の復興にも携わる（現：福島まるごと船団丸）。全国で船団丸ブランドを展開し、講演活動も行う。

詳しくはこちら



〈注意書き〉

講演者は喘息・アレルギーをお持ちのため、喫煙後すぐのご入場はお控えください。ご来場の方は、香水、化学香料を多く含む洗剤、柔軟剤、整髪料等のご使用をお控えくださいますようお願いいたします。

日時 2024 2/16 金 午後6時30分～9時00分

※全体の懇親会の設定はございません。

会費 2,000円

※当日受付にてご集金させていただきます。
※2月9日以降のキャンセルについてはキャンセル料を頂戴いたします。
※消費税法基本通達 5-5-3 に該当しますので、課税仕入れにはしないようにお願いします。

場所 京都経済センター 6-BCD 会議室
京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町 78 番地

